

## がんの教育に関する検討委員会 設置要項

### (趣旨)

学校における健康教育は、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培うために行われてきたが、近年、生活習慣や社会環境の変化に伴い、新たな健康課題が生じてきている。その中でも、国民の二人に一人がかかるがんは重要な課題であり、国民の健康に関する基礎的な教養として必要不可欠なものとなりつつある。

一方で、我が国におけるがん対策については、がん対策基本法（平成18年法律第98号）のもと、政府が策定するがん対策推進基本計画（以下「基本計画」という。）に基づいて行われている。

昨年、平成24年度から平成28年度までの5年間を対象とした新たな基本計画が策定された。これにより「がん患者を含む国民が、がんを知り、がんに向き合い、がんに負けることのない社会」を目指すこととされている。

基本計画の中では、

- 健康については子どもの頃から教育することが重要であり、学校でも健康の保持増進と疾病の予防といった観点から、がんの予防も含めた健康教育に取り組んでいる。しかし、がんそのものやがん患者に対する理解を深める教育は不十分であると指摘されている。
- 子どもに対しては、健康と命の大切さについて学び、自らの健康を適切に管理し、がんに対する正しい知識とがん患者に対する正しい認識を持つよう教育することを目指し、5年以内に、学校での教育のあり方を含め、健康教育全体の中で「がん」教育をどのようにすべきか検討し、検討結果に基づく教育活動の実施を目標とする。

などと記載されており、がんに関する教育の必要性が指摘されている。

そこで、がんに関する教育のあり方について検討するために、本検討会を設けることとした。

### (実施期間)

平成25年所属長承認日 ～ 平成26年3月31日

委員会開催の年間回数 5、6回程度

別 紙

(委員構成)

五十音順  
◎印 委員長

|          |                              |
|----------|------------------------------|
| ◎植 田 誠 治 | 聖心女子大学文学部 教授                 |
| 久 保 正 美  | 埼玉県立熊谷女子高等学校 校長              |
| 酒 井 智    | 大阪府教育委員会教育振興室保健体育課 首席指導主事    |
| 中 川 恵 一  | 東京大学医学部附属病院放射線科 准教授 緩和ケア診療部長 |
| 野 口 直 美  | 北海道旭川東栄高等学校 養護教諭             |
| 福 富 和 博  | 熊本市立鹿南中学校 教諭                 |
| 前 川 育    | NPO 法人 周南いのちを考える会 代表         |
| 宮 城 悦 子  | 横浜市立大学附属病院 准教授・化学療法センター長     |
| 渡 辺 象    | 公益社団法人東京都医師会 理事              |